

多摩川中流域におけるタイワンシジミの分布

西 栄二郎

Eijirou Nishi:

Records of Freshwater Clam *Corbicula fluminea* from Tamagawa River

はじめに

タイワンシジミはアジア原産の淡水生二枚貝であり、雌雄同体で、卵胎生、自家受精による繁殖も可能であることが知られている（古丸，2002）。マシジミと同様雄性発生することが知られ、2倍体、3倍体、4倍体など倍数体も確認されている（古丸，2002）。現在では世界各地の淡水域に見られ、人間の活動により分布を広げた可能性が高い（古丸，2002）。日本各地でも分布が確認されているが、現状では貝殻での分類が難しく、タイワンシジミの分類について今後再検討の余地がある（増田ほか，1998；古丸，2002；園原，2002）。

神奈川県内においては、園原（2002）が金目川水系における分布を報告しており、今後も各地での発見が相次ぐものと思われる。今回、神奈川県と東京都を隔てる多摩川中流域において、タイワンシジミと思われる個体が多数採集されたので、ここに報告する。併せて行った鶴見川と引地川中流における調査では発見できなかったが、今後もさらに調査を続ける予定である。

調査地と方法

2004年7月から10月にかけて多摩川中流から下流（7月22日，10月18日），鶴見川中流（7月26日，7月30日），引地川中流（8月25日）において、川底の泥や砂，れきを網目1mmの篩でふるい、二枚貝を選別した。採集した貝は実験室に持ち帰り、高温水中に浸して軟体部を取り除き、貝殻のみを標本とした。

結 果

多摩川中流の武蔵小杉北東の溝口から二子、諏訪に至る河川敷の縁部（図1B）においてタイワンシジミが採集された（図2）。生貝のサイズは6.0～16.5 mm（殻長），4.4～14.6 mm（殻高）であった。同所で採集されたタイワンシジミの殻の外表面はすべて深黄色で、内面は乳白色と白紫の2タイプが混在していた。生息密度は、新二子橋の下流部の5地点で22～30個体／25×25 cmであっ

た。二子橋の上流でも生貝が転石に付着しているのが確認された。新多摩川大橋より下流では採集されなかった。

稲田堤から宿河原にいたる広い河川敷の縁部（図1A）でも調査を行ったが、生貝，死殻共に採集されなかった。

鶴見川中流域の綱島～綱島上町，早渕川周辺のヨシ原の縁部でもタイワンシジミは採集されなかった。同川の上流部，鴨居～白山～上山，中山町，恩田川における地点でも採集されなかった。

相模湾に流れこむ藤沢市引地川の親水公園内でも生貝，死殻ともに採集されなかった。

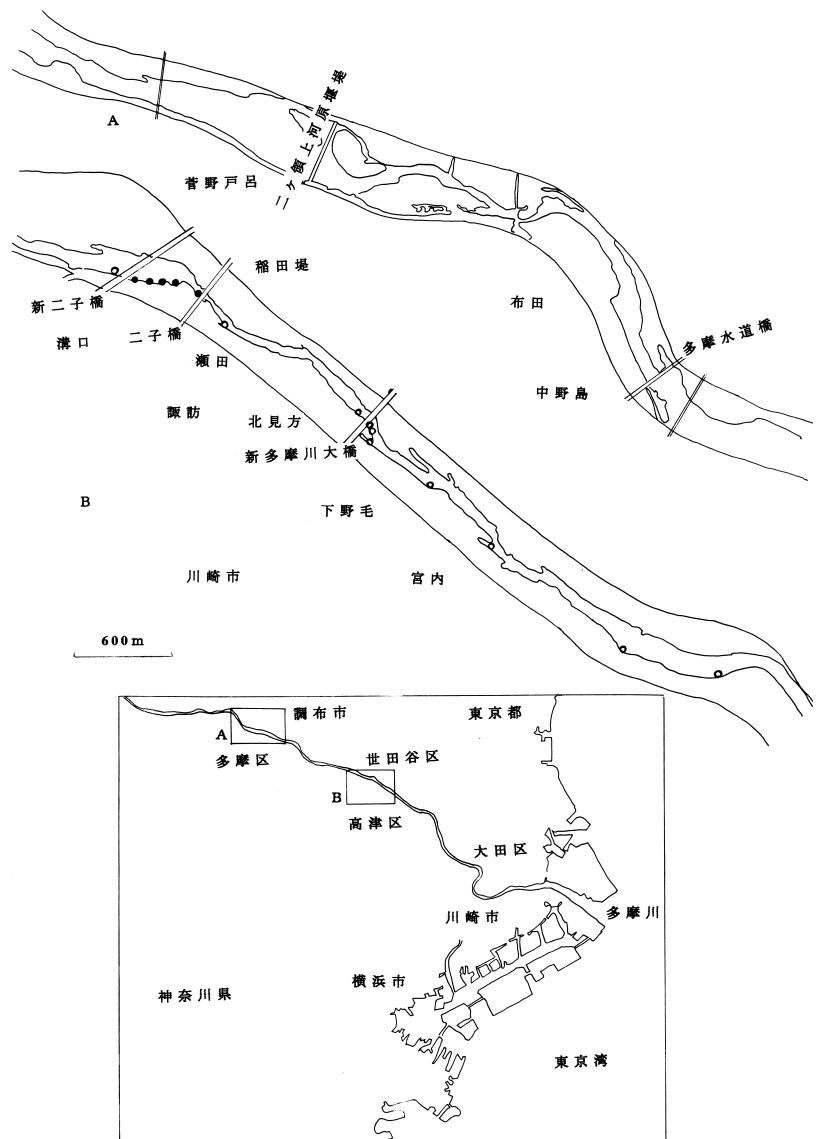


図1. 多摩川周辺地図（下図）と調査地A,Bの多摩川中流域。
A, 稲田堤から中野島；B, 宿河原，溝口から下野毛，小杉。図中の○●は調査地点で，○は分布が確認されなかった地点，●は分布が確認された地点。



図 2. 新二子橋下から採集された台湾シジミ。皿の直径は 8.5cm.

考 察

多摩川水系における台湾シジミの分布は黒住（2002）によって予想されていた。多摩川ではこれまでマシジミの分布が確認されているが（たとえば加賀谷，2001），これらも台湾シジミが混在していないか，再検討の余地があると思われる。今回の多摩川での台湾シジミの分布確認は予備的なものであり，今後の調査によって，多摩川の東京都側での分布や上流域，下流域での分布が明らかにされるものと思われる。併せて，多摩川に近い鶴見川などでの調査や，マシジミとの混在の可能性，雑種形成の可能性に関する研究の必要性もある。マシジミやセタシジミは絶滅危惧種として扱われることもあり，台湾シジミの移入が在来種マシジミの衰退につながらないように，今後のモニタリングが重要である。

謝 辞

台湾シジミについて，伊勢原市向上高校の園原哲司先生から多くの情報をいただいた。また，本研究は（財）神奈川科学技術アカデミーの助成研究「神奈川県内における外来移入種の在来生態系に及ぼす影響評価」（代表西 栄二郎）の一部である。ここに記して深謝したい。

引用文献

- 古丸 明，2002. 台湾シジミ～世界中に進出したアジア起源の淡水産二枚貝～. 日本生態学会編（村上興正，鷺谷いづみ監修），外来種ハンドブック，p.174，地人書館，東京。
- 増田 修・河野圭典・片山 久，1998. 西日本における台湾シジミ種群とシジミ属の不明種2種の産出状況. 兵庫陸水生物，49：22-35.
- 黒住耐二，2002. 多摩川水系の貝類から見た自然環境の現状把握と保全に関する研究.（財）とうきゅう環境浄化財団，研究助成報告書，No. 226. 242pp.
- 加賀谷 隆，2001. 河川底生無脊椎動物群集に対する多自然型川づくりによる改修工法の影響. 中井達郎編著，多摩川およびその流域の都市化と環境保全.，pp.125-172，（財）とうきゅう環境浄化財団，研究助成報告書 No. 214.
- 園原哲司，2002. 金目川水系における台湾シジミの生息状況調査. 神奈川自然誌資料，（23）：35-38.

（横浜国立大学教育人間科学部）